2027年3月期
第2四半期決算説明資料

新家工業株式会社

2026年11月25日

証券コード7305

目　次

Ⅰ．2027年3月期　第2四半期　連結決算概要	2
Ⅱ．2027年3月期　第2四半期　セグメント毎の概要	16
Ⅲ．2027年3月期　通期連結業績予想	22
Ⅳ．株主還元等	26
Ⅴ．ご参考_前期実績	29

※本資料における数字は、百万円未満を切捨てております。
　％表示は、小数点以下第1位未満を四捨五入しております。

©ARAYA INDUSTRIAL CO.,LTD. All Rights Reserved

Ⅰ.1_1 2027年3月期　第2四半期　連結決算要旨

売上高	210.2 億円 （前年同期比　＋5.9 %）	売上総利益	47.5 億円 （前年同期比　＋17.1 %）
営業利益	14.5 億円 （前年同期比　＋65.8 %）	経常利益	15.7 億円 （前年同期比　＋49.6 %）
親会社株主に帰属する中間純利益	10.6 億円 （前年同期比　＋81.1 %）	【EPS】1株当たり中間純利益	112円02銭 （前年同期比　＋81.1 %）

©ARAYA INDUSTRIAL CO.,LTD. All Rights Reserved

2027年3月期　第2四半期　決算のポイント

前年同期比　：　【増収増益】

鉄鋼業界においては、建築・土木分野で、人手不足や建築資材の高止まりに伴う工期の遅延・見直しが常態化し、鋼材需要は停滞した。また、自動車分野においては、一部に生産の持ち直しが見られたものの、本格的な需要回復には至らず、鋼管全般の国内需要は総じて伸び悩んだ。

また、我が国へのアンチダンピング課税賦課などの通商政策に加え、円安トレンドが続く為替相場の効果もあり、海外からの安値輸入品の過度な流入は一定程度抑制されたものの、国内需要の低迷を背景に鋼材市況は力強さを欠く展開となった。その結果、原材料費や加工費などのコスト上昇分を販売価格へ十分に転嫁することは難しく、利ざやの確保が引き続き課題となった。

このような事業環境のもと、当社グループは需要に応じた生産・販売体制の最適化を推進するとともに、販売価格の適正化や各種コスト改善に取り組んだ結果、前年同期比を上回る利益を計上した。

©ARAYA INDUSTRIAL CO.,LTD. All Rights Reserved

Ⅰ.2_1 2027年3月期　第2四半期　連結損益計算書（前年同期比較）

（単位：百万円）	前第2四半期累計 (2025.04.01~09.30) 金　額	(売上高比)	当第2四半期累計 (2026.04.01～09.30) 金　額	(売上高比)	前　年 同期比	前期実績 (2025.04.01～2026.03.31) 金　額	(売上高比)
売上高	19,850	(-)	21,021	(-)	+ 5.9%	40,447	(-)
売上原価	15,785	(79.5%)	16,262	(77.4%)	+ 3.0%	32,129	(79.4%)
売上総利益	4,064	(20.5%)	4,759	(22.6%)	+ 17.1%	8,317	(20.6%)
販売費及び一般管理費	3,187	(16.1%)	3,303	(15.7%)	+ 3.6%	6,431	(15.9%)
営業利益	877	(4.4%)	1,455	(6.9%)	+ 65.8%	1,885	(4.7%)
営業外収益	234	(1.2%)	289	(1.4%)	+ 23.6%	533	(1.3%)
営業外費用	57	(0.3%)	167	(0.8%)	+ 192.5%	112	(0.3%)
経常利益	1,055	(5.3%)	1,577	(7.5%)	+ 49.6%	2,306	(5.7%)
特別利益	20	(0.1%)	0	(0.0%)	▲98.9%	63	(0.2%)
特別損失	115	(0.6%)	4	(0.0%)	▲95.8%	123	(0.3%)
税金等調整前中間純利益	959	(4.8%)	1,573	(7.5%)	+ 63.9%	2,246	(5.6%)
法人税等合計	347	(1.8%)	494	(2.4%)	+ 42.2%	694	(1.7%)
非支配株主に帰属する中間純利益	22	(0.1%)	10	(0.1%)	▲52.3%	31	(0.1%)
親会社株主に帰属する中間純利益	589	(3.0%)	1,068	(5.1%)	+ 81.1%	1,521	(3.8%)

©ARAYA INDUSTRIAL CO.,LTD. All Rights Reserved

Ⅰ.2_2 2027年3月期　第2四半期　連結損益計算書（四半期別比較）

当期実績 （単位：百万円）	第1四半期 (2026.04.01～06.30) 金　額	(売上高比)	第2四半期 (2026.07.01～09.30) 金　額	(売上高比)	第2四半期累計 (2026.04.01～09.30) 金　額	(売上高比)
売上高	10,868	(-)	10,153	(-)	21,021	(-)
売上原価	8,474	(78.0%)	7,787	(76.7%)	16,262	(77.4%)
売上総利益	2,393	(22.0%)	2,365	(23.3%)	4,759	(22.6%)
販売費及び一般管理費	1,647	(15.2%)	1,656	(16.3%)	3,303	(15.7%)
営業利益	746	(6.9%)	709	(7.0%)	1,455	(6.9%)
営業外収益	198	(1.8%)	91	(0.9%)	289	(1.4%)
営業外費用	81	(0.8%)	85	(0.8%)	167	(0.8%)
経常利益	862	(7.9%)	715	(7.0%)	1,577	(7.5%)
特別利益	0	(0.0%)	-	(-)	0	(0.0%)
特別損失	1	(0.0%)	3	(0.0%)	4	(0.0%)
税金等調整前四半期純利益	861	(7.9%)	712	(7.0%)	1,573	(7.5%)
法人税等合計	265	(2.4%)	228	(2.3%)	494	(2.4%)
非支配株主に帰属する四半期純利益	5	(0.1%)	5	(0.1%)	10	(0.1%)
親会社株主に帰属する四半期純利益	590	(5.4%)	478	(4.7%)	1,068	(5.1%)

©ARAYA INDUSTRIAL CO.,LTD. All Rights Reserved

Ⅰ.2_3 2027年3月期　第2四半期　連結損益計算書（計画比進捗率）

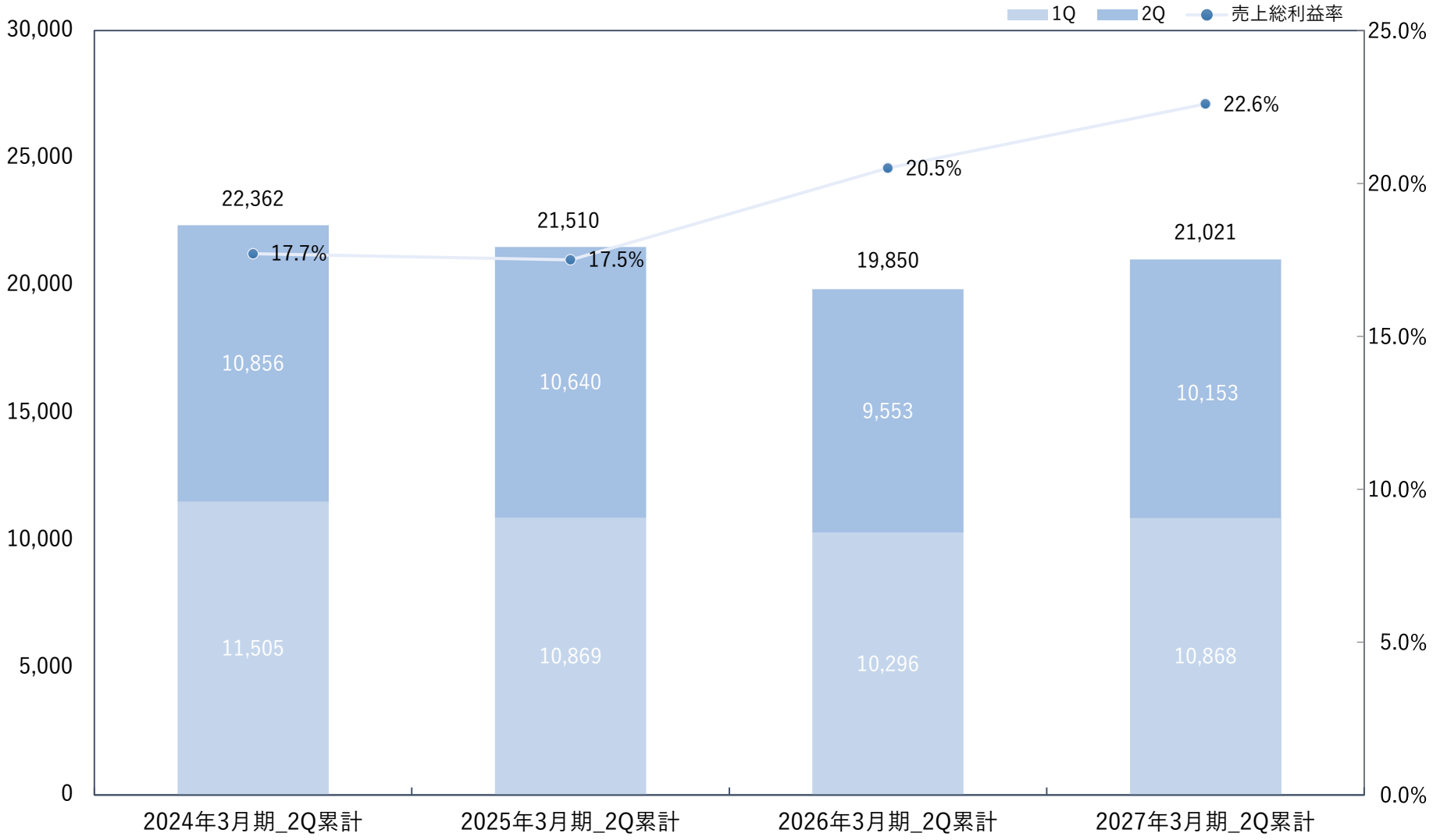
当期実績 （単位：百万円）	当第2四半期 （2026.04.01～09.30） 金　額	下期 （2026.10.01～2027.03.31） 予想値	通期 （2026.04.01～2027.03.31） 予想値	計画比進捗率
売上高	21,021	20,978	42,000	（50.1%）
営業利益	1,455	944	2,400	（60.7%）
経常利益	1,577	922	2,500	（63.1%）
親会社株主に帰属する中間純利益	1,068	631	1,700	（62.8%）

（ご参考）前期実績 （単位：百万円）	前第2四半期 （2025.04.01～09.30） 金　額	下期 （2025.10.01～2026.03.31） 実績	通期 （2025.04.01～2026.03.31） 実績	実績比進捗率
売上高	19,850	20,597	40,447	（49.1%）
営業利益	877	1,008	1,885	（46.5%）
経常利益	1,055	1,251	2,306	（45.7%）
親会社株主に帰属する中間純利益	589	931	1,521	（38.8%）

©ARAYA INDUSTRIAL CO.,LTD. All Rights Reserved

Ⅰ.3_1 2027年3月期　第2四半期　連結売上高（推移表）

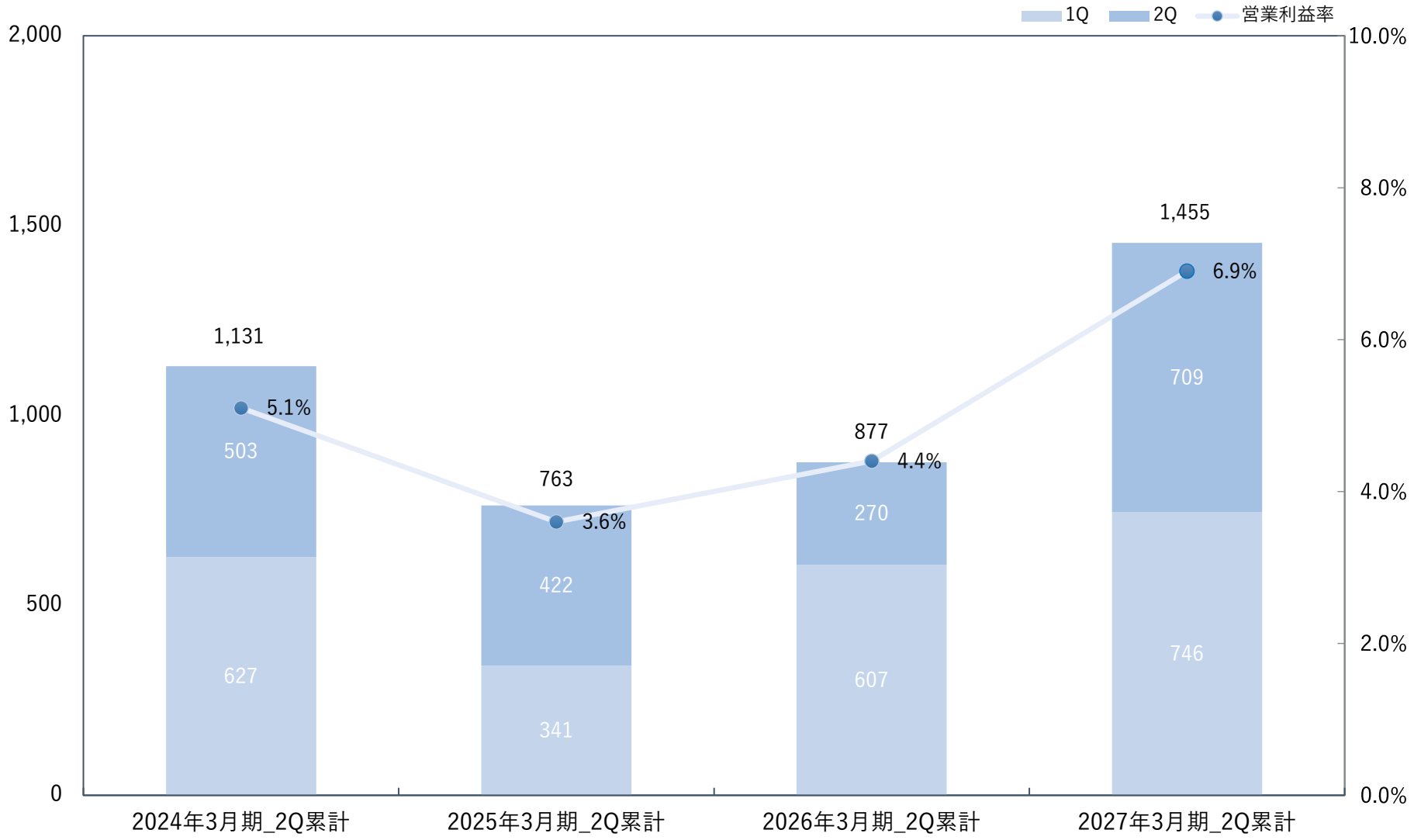
（単位：百万円）



©ARAYA INDUSTRIAL CO.,LTD. All Rights Reserved

Ⅰ.3_2 2027年3月期　第2四半期　連結営業利益（推移表）

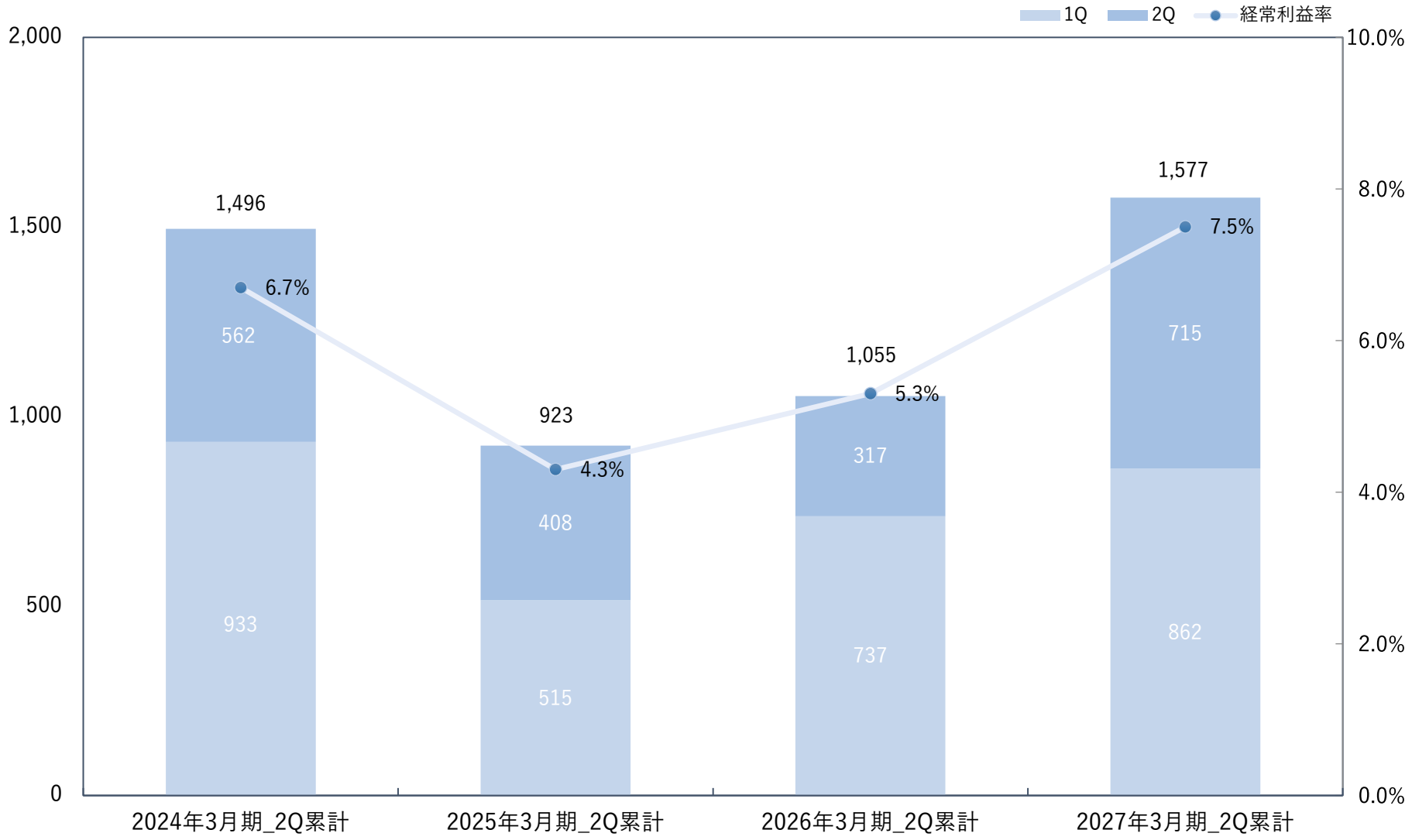
（単位：百万円）



©ARAYA INDUSTRIAL CO.,LTD. All Rights Reserved

Ⅰ.3_3 2027年3月期　第2四半期　連結経常利益（推移表）

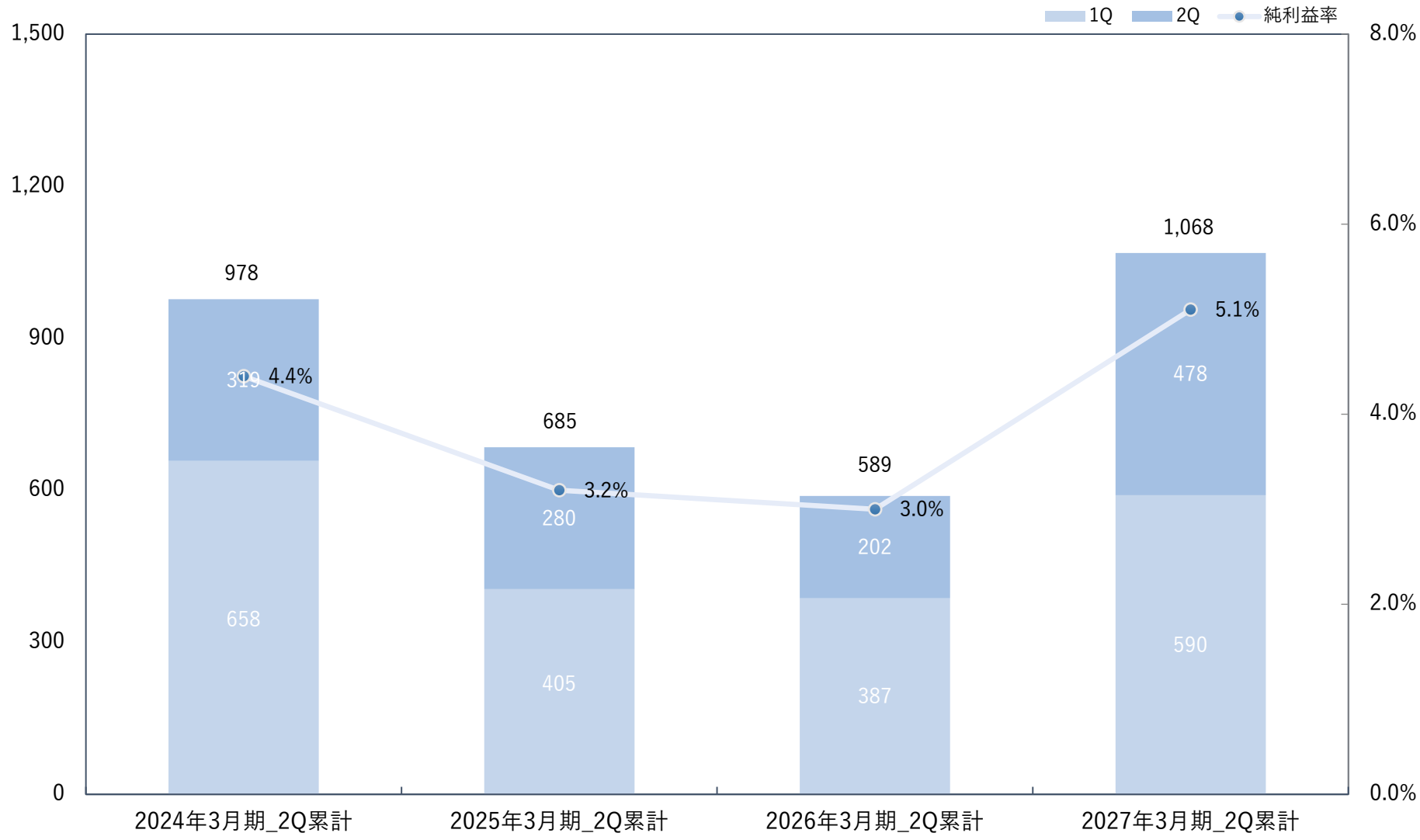
（単位：百万円）



©ARAYA INDUSTRIAL CO.,LTD. All Rights Reserved

Ⅰ.3_4 2027年3月期　第2四半期　連結当期純利益（推移表）

（単位：百万円）



©ARAYA INDUSTRIAL CO.,LTD. All Rights Reserved

Ⅰ.4_1 2027年3月期　第2四半期　連結貸借対照表（前年度比較）

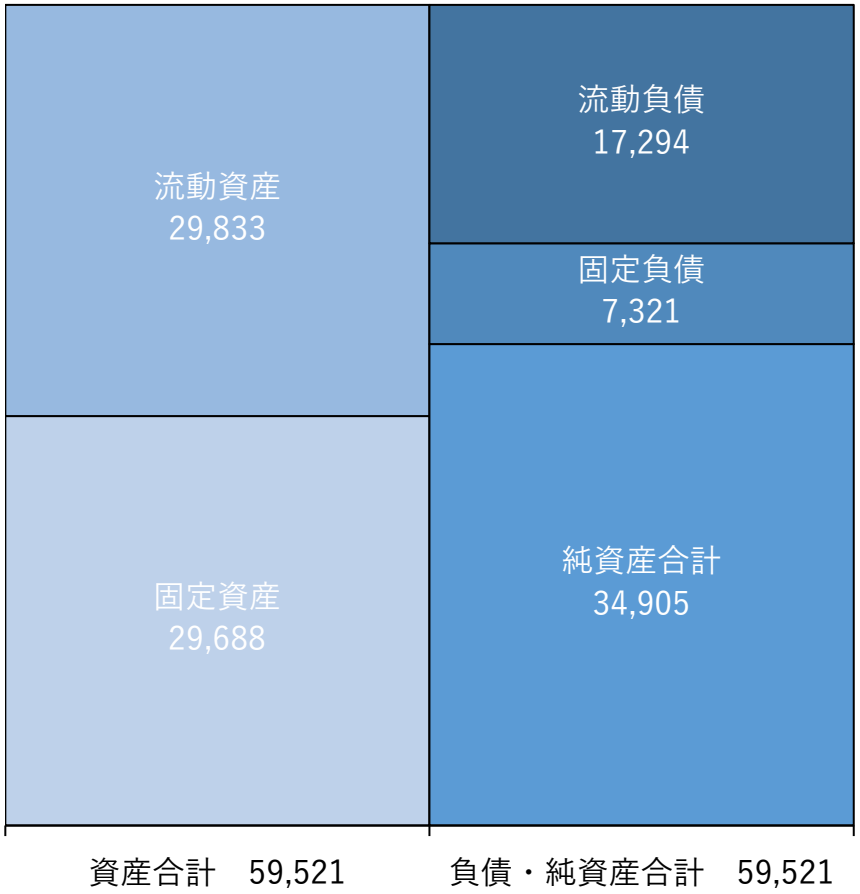
	（単位：百万円）	前年度期末（2026.03.31）	当第2四半期末（2026.09.30）	増減額	主な変動事項	
資産の部	流動資産	29,833	29,604	▲ 228	-	
	現金及び預金	8,801	8,385	▲ 415	-	
	固定資産	29,688	32,924	＋ 3,236	建物（純額）の増加 投資有価証券の増加	＋ 1,010百万円 ＋ 2,505百万円
	資産合計	59,521	62,529	＋ 3,008	-	
負債の部	流動負債	17,294	18,213	＋ 919	支払手形及び買掛金の増加 電子記録債務の増加	＋ 267百万円 ＋ 458百万円
	固定負債	7,321	7,828	＋ 506	繰延税金負債の増加	＋ 661百万円
	負債合計	24,616	26,041	＋ 1,425	-	
純資産の部	株主資本	26,525	26,546	＋ 20	-	
	その他の包括利益累計額	7,885	9,436	＋ 1,551	その他有価証券評価差額金の増加	＋ 1,501百万円
	非支配株主持分	494	505	＋ 10	-	
	純資産合計	34,905	36,487	＋ 1,582	-	
負債純資産合計		59,521	62,529	＋ 3,008	-	

©ARAYA INDUSTRIAL CO.,LTD. All Rights Reserved

Ⅰ.4_2 2027年3月期　第2四半期　連結貸借対照表（推移）

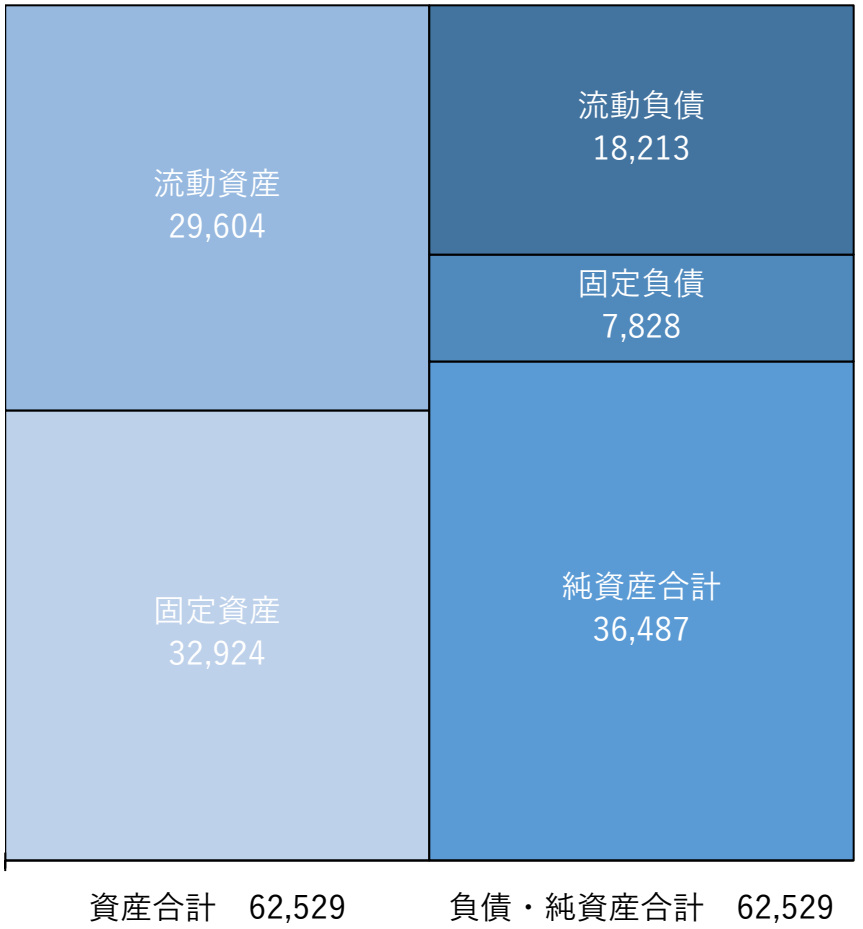
前年度期末(2026.03.31)_連結BS

（単位：百万円）



当第2四半期末(2026.09.30)_連結BS

（単位：百万円）



©ARAYA INDUSTRIAL CO.,LTD. All Rights Reserved

Ⅰ.5_1 2027年3月期　第2四半期　連結CF計算書（前年同期比較）

（単位：百万円）	前第2四半期累計 （2025.04.01～09.30）	当第2四半期累計 （2026.04.01～09.30）	増減	主な項目	
営業活動による キャッシュ・フロー	455	2,614	＋2,159	税金等調整前中間純利益 仕入債務の増減額	＋1,573百万円 ＋720百万円
投資活動による キャッシュ・フロー	▲741	▲1,918	▲1,176	投資有価証券の取得による支出 有形固定資産の取得による支出	▲514百万円 ▲1,501百万円
財務活動による キャッシュ・フロー	275	▲1,105	▲1,380	配当金の支払額	▲1,053百万円
現金及び現金同等物 に係る換算差額	▲20	▲6	＋14	-	
現金及び現金同等物 の増減額（△は減少）	▲31	▲415	▲384	-	
現金及び現金同等物 の期首残高	6,703	8,801	＋2,098	-	
現金及び現金同等物 の四半期末残高	6,671	8,385	＋1,714	-	
フリー キャッシュ・フロー	▲286	695	＋982	（営業活動によるCF　＋　投資活動によるCF）	

©ARAYA INDUSTRIAL CO.,LTD. All Rights Reserved

Ⅰ.5_2 2027年3月期　第2四半期　連結CF計算書（概況）

営業活動によるCF

2,614百万円
（前年同期　455百万円）

主な項目

税金等調整前中間純利益	1,573百万円
減価償却費	462百万円
仕入債務の増減額	720百万円

投資活動によるCF

▲1,918百万円
（前年同期　▲741百万円）

主な項目

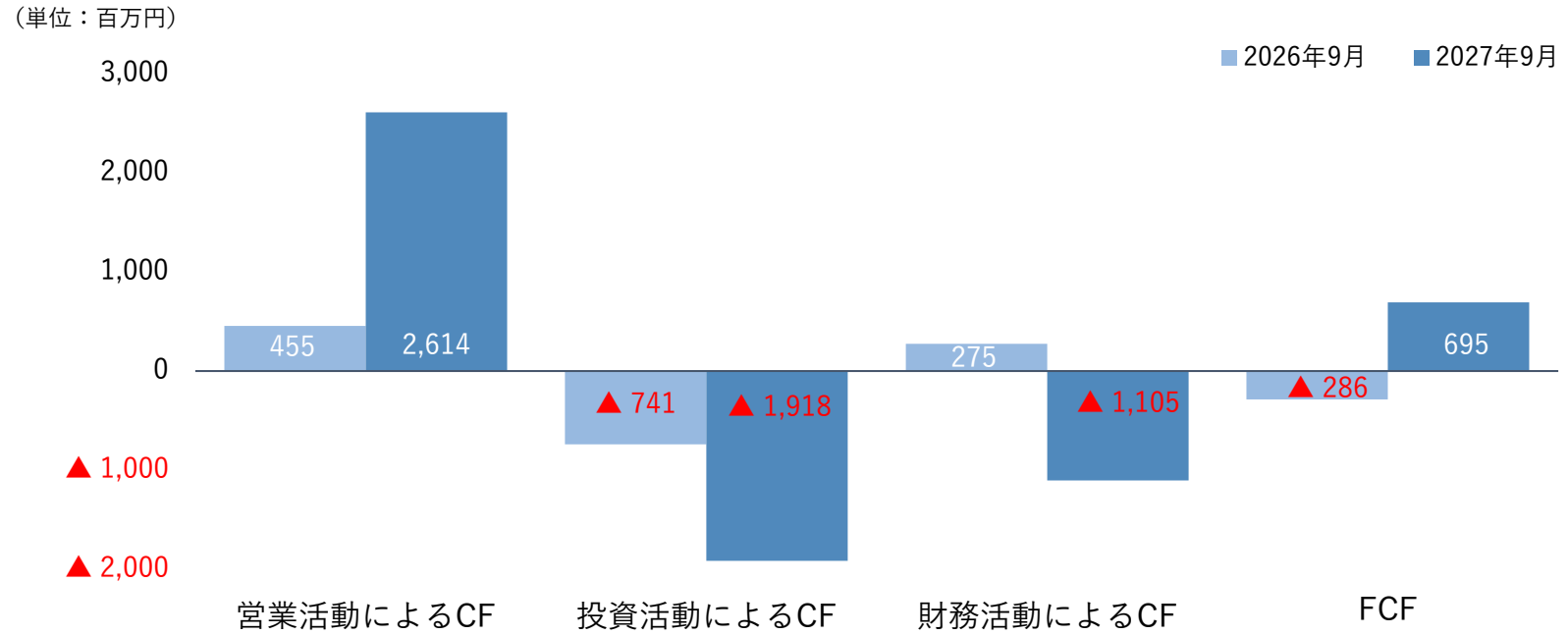
投資有価証券の取得による支出	▲514百万円
有形固定資産の取得による支出	▲1,501百万円

財務活動によるCF

▲1,105百万円
（前年同期　275百万円）

主な項目

短期借入金の純増減額	122百万円
長期借入金の返済による支出	▲165百万円
配当金の支払額	▲1,053百万円



©ARAYA INDUSTRIAL CO.,LTD. All Rights Reserved

目　次

Ⅰ．2027年3月期　第2四半期　連結決算概要	2
Ⅱ．2027年3月期　第2四半期　セグメント毎の概要	16
Ⅲ．2027年3月期　通期連結業績予想	22
Ⅳ．株主還元等	26
Ⅴ．ご参考_前期実績	29

※近年の市場動向および事業収益性を踏まえ、2025年12月末をもって完成自転車の輸入販売事業から撤退しております。
　これに伴い、従来「自転車関連」として独立した報告セグメントを記載しておりましたが、当第1四半期連結累計期間より報告セグメントから除外しております。
※本資料における数字は、百万円未満を切捨てております。
　％表示は、小数点以下第1位未満を四捨五入しております。

©ARAYA INDUSTRIAL CO.,LTD. All Rights Reserved

Ⅱ.1 2027年3月期　第2四半期　セグメント別売上高等（前年同期比較）

	(単位：百万円)	前第2四半期累計 (2025.04.01～09.30) 金　額	構成比	(営業利益率)	当第2四半期累計 (2026.04.01～09.30) 金　額	構成比	(営業利益率)	増減 金　額	率
売上高	鋼管関連	19,369	97.6%	-	20,642	98.2%	-	+ 1,273	+ 6.6%
	自転車関連	114	0.6%	-	-	-	-	▲ 114	-
	不動産等賃貸	344	1.7%	-	350	1.7%	-	+ 5	+ 1.5%
	その他	21	0.1%	-	28	0.1%	-	+ 7	+ 35.3%
	小計（連結PL計上額）	19,850	(-)	-	21,021	(-)	-	+ 1,171	+ 5.9%
営業費用	鋼管関連	18,732	98.7%	-	19,498	99.7%	-	+ 765	+ 4.1%
	自転車関連	100	0.5%	-	-	-	-	▲ 100	-
	不動産等賃貸	45	0.2%	-	44	0.2%	-	▲ 0	▲ 1.9%
	その他	19	0.1%	-	29	0.2%	-	+ 10	+ 55.8%
	調整額	75	0.4%	-	▲ 6	0.0%	-	▲ 81	-
	小計	18,972	(-)	-	19,565	(-)	-	+ 593	+ 3.1%
営業利益	鋼管関連	636	72.6%	(3.3%)	1,144	78.6%	(5.5%)	+ 507	+ 79.7%
	自転車関連	14	1.6%	(12.5%)	-	-	-	▲ 14	-
	不動産等賃貸	299	34.1%	(86.9%)	305	21.0%	(87.3%)	+ 6	+ 2.0%
	その他	2	0.2%	(9.7%)	▲ 1	▲ 0.1%	(▲ 3.9%)	▲ 3	▲ 154.7%
	調整額	▲ 75	▲ 8.6%	-	6	0.4%	-	+ 81	-
	小計（連結PL計上額）	877	(-)	(4.4%)	1,455	(-)	(6.9%)	+ 577	+ 65.8%

©ARAYA INDUSTRIAL CO.,LTD. All Rights Reserved

Ⅱ.2_1 2027年3月期　第2四半期　鋼管関連セグメント（概況）

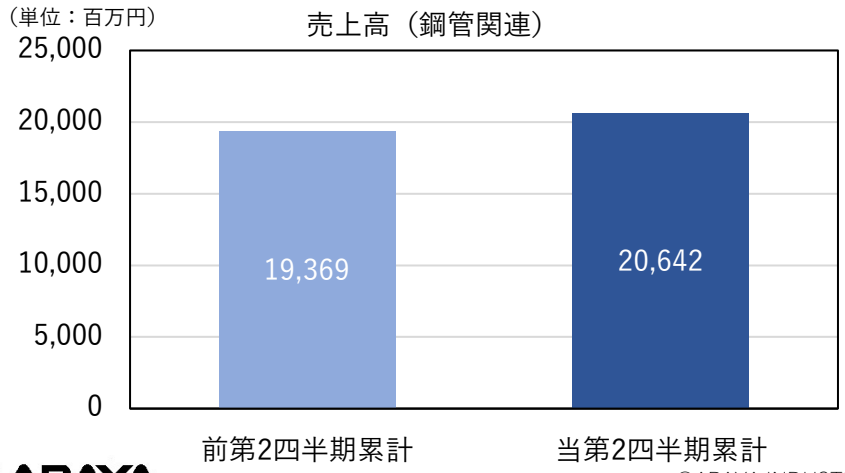
売上高	206億42百万円	前年同期比	＋12億73百万円　（＋6.6%）
営業利益	11億44百万円	前年同期比	＋5億07百万円　（＋79.7%）

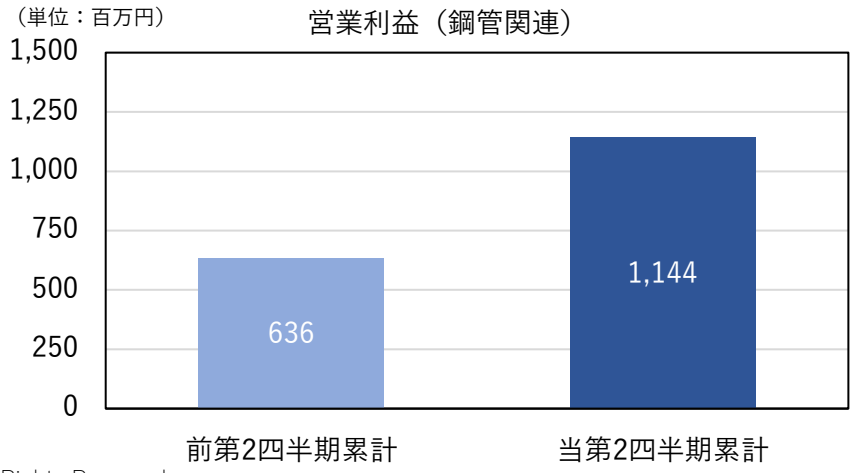
1．普通鋼製品

・ 主力分野である建築関連において、人手不足や資材価格・物流費の高騰を背景に、住宅着工の低迷や建設工事の工期の遅延・見直しが長期化しており、厳しい受注環境が続いた。一方、住宅設備や梱包資材関連では、中東情勢に起因する部材調達の遅延や物流の停滞が生じていたものの、第2四半期には影響が限定的となり、出荷は従来の水準に戻った。また、自動倉庫や太陽光架台といったエネルギー関連案件の受注も堅調に推移した結果、販売数量は前年同期並みの水準を維持した。

2．ステンレス鋼製品

・ 普通鋼と同様に建築関連が低調に推移した一方、半導体製造装置、データセンター、トラック架装、エネルギー、食品・薬品関連設備などは堅調に推移した。価格に関しては、人件費、物流費、光熱費の上昇に加え、中東情勢の影響による副資材の供給不安や、アンチダンピング関税により海外からの入荷が抑制されたことから、販売価格の引き上げを進めやすい環境となった。こうした状況を背景に、市況価格は強含みで推移した。



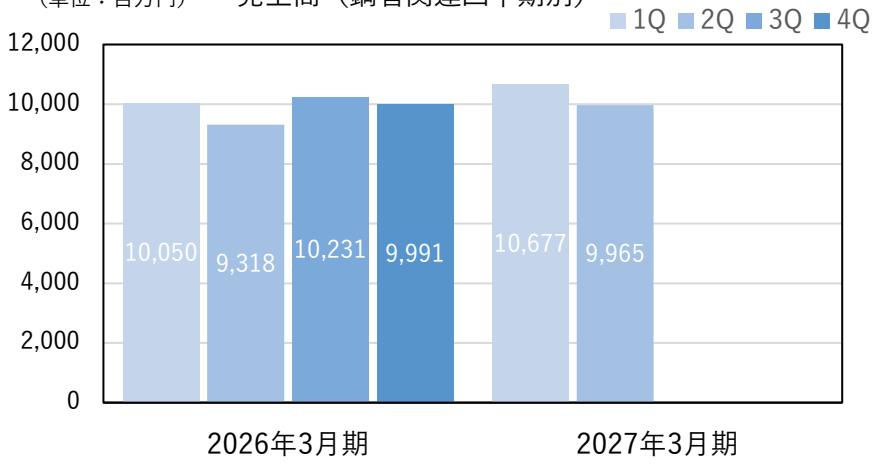


©ARAYA INDUSTRIAL CO.,LTD. All Rights Reserved

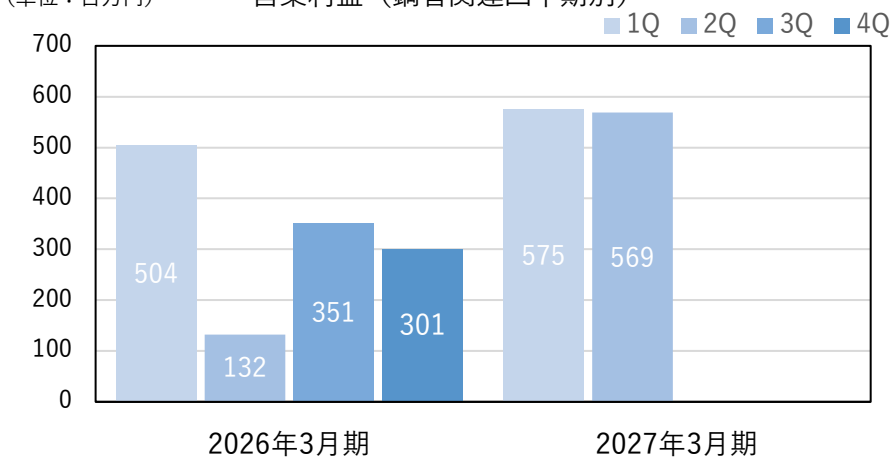
Ⅱ.2_2 2027年3月期　第2四半期　鋼管関連セグメント（四半期別比較）

（単位：百万円）		第1四半期 金額	第1四半期 比率	第2四半期 金額	第2四半期 比率	第2四半期累計 金額	第2四半期累計 比率	第3四半期 金額	第3四半期 比率	第4四半期 金額	第4四半期 比率
売上高および構成比率	当期（2027年3月期）	10,677	51.7%	9,965	48.3%	20,642	-	-	-	-	-
	前期（2026年3月期）	10,050	25.4%	9,318	23.5%	19,369	48.9%	10,231	25.8%	9,991	25.2%
	増減	＋626	＋6.2%	＋646	＋6.9%	＋1,273	＋6.6%	-	-	-	-
営業利益および営業利益率	当期（2027年3月期）	575	(5.4%)	569	(5.7%)	1,144	(5.5%)	-	-	-	-
	前期（2026年3月期）	504	(5.0%)	132	(1.4%)	636	(3.3%)	351	(3.4%)	301	(3.0%)
	増減	＋71	＋14.1%	＋436	＋328.6%	＋507	＋79.7%	-	-	-	-

（単位：百万円）　売上高（鋼管関連四半期別）



（単位：百万円）　営業利益（鋼管関連四半期別）

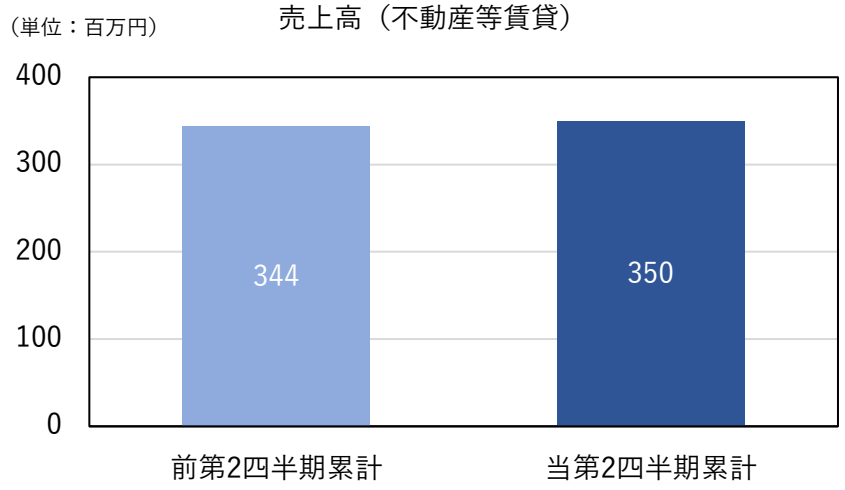


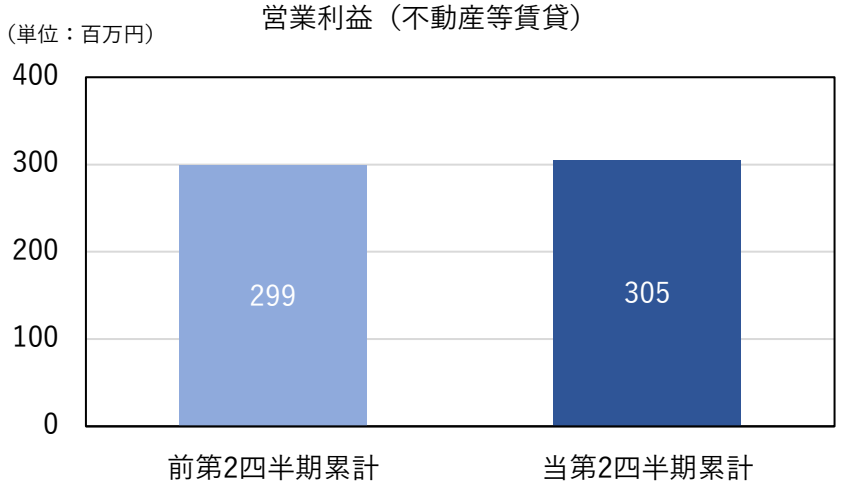
©ARAYA INDUSTRIAL CO.,LTD. All Rights Reserved

Ⅱ.4_1 2027年3月期　第2四半期　不動産等賃貸セグメント（概況）

売上高	3億50百万円	前年同期比	＋5百万円　（＋1.5%）
営業利益	3億05百万円	前年同期比	＋6百万円　（＋2.0%）

・ 東京都大田区の地代収入を中心に、関西工場リム工場跡地の地代収入、東京都江東区の自社ビル「アラヤ清澄白河ビル」の賃貸収入、大阪府茨木市の地代収入などにより、安定した収益を確保した。

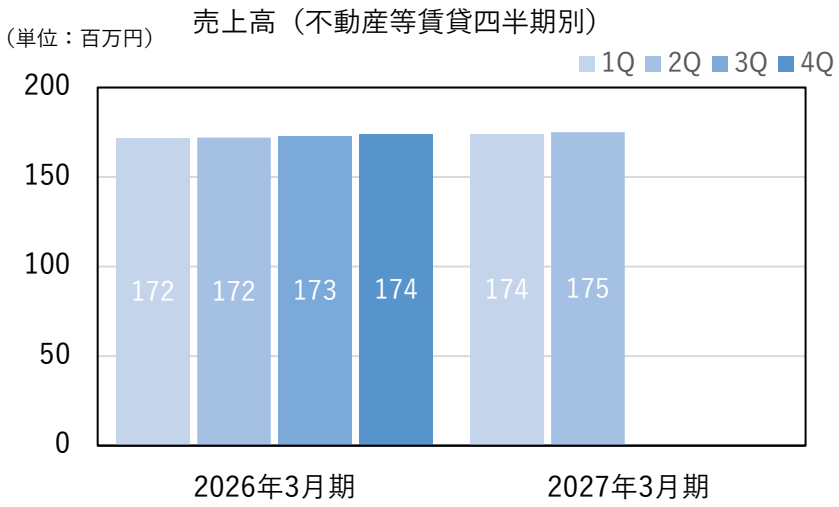


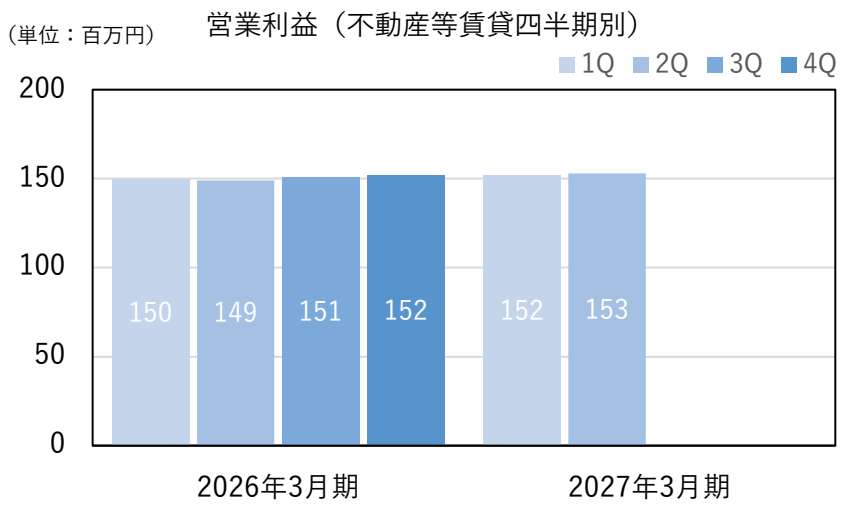


©ARAYA INDUSTRIAL CO.,LTD. All Rights Reserved

Ⅱ.4_2 2027年3月期　第2四半期　不動産等賃貸セグメント（四半期別比較）

（単位：百万円）		第1四半期 金額	第1四半期 比率	第2四半期 金額	第2四半期 比率	第2四半期累計 金額	第2四半期累計 比率	第3四半期 金額	第3四半期 比率	第4四半期 金額	第4四半期 比率
売上高および構成比率	当期（2027年3月期）	174	50.0%	175	50.0%	350	-	-	-	-	-
	前期（2026年3月期）	172	24.9%	172	24.9%	344	49.8%	173	25.0%	174	25.2%
	増減	＋2	＋1.5%	＋2	＋1.5%	＋5	＋1.5%	-	-	-	-
営業利益および営業利益率	当期（2027年3月期）	152	(87.3%)	153	(87.4%)	305	(87.3%)	-	-	-	-
	前期（2026年3月期）	150	(87.4%)	149	(86.4%)	299	(86.9%)	151	(87.3%)	152	(87.1%)
	増減	＋2	＋1.5%	＋3	＋2.6%	＋6	＋2.0%	-	-	-	-





©ARAYA INDUSTRIAL CO.,LTD. All Rights Reserved

目　次

Ⅰ．2027年3月期　第2四半期　連結決算概要	2
Ⅱ．2027年3月期　第2四半期　セグメント毎の概要	16
Ⅲ．2027年3月期　通期連結業績予想	22
Ⅳ．株主還元等	26
Ⅴ．ご参考_前期実績	29

※本資料における数字は、百万円未満を切捨てております。
　％表示は、小数点以下第1位未満を四捨五入しております。

©ARAYA INDUSTRIAL CO.,LTD. All Rights Reserved

Ⅲ.1 2027年3月期　通期連結業績予想

今後の見通し

物価高の長期化による個人消費への影響や、構造的な人手不足に伴う工期の遅延・見直し、為替相場の動向、海外景気の減速懸念など、先行き不透明な状況が続くと予想され、需要の急速な回復を見込むことは難しい状況にある一方で、DXの急速な進展を背景に、省力化投資をはじめ、データセンターやAI・半導体分野を中心とした設備投資の拡大が期待されている。

鉄鋼業界においては、建設現場における深刻な人手不足や資材高騰による工事遅延が長期化しており、住宅・建築分野では需要の本格的な回復にはなお時間を要するものと見込まれる。また、公共投資や一部産業機械向け等に持ち直しの動きが見られるものの、自動車関連需要の伸び悩み等もあり、国内鋼材需要全体としては当面、力強さを欠く状況が続く見通しである。さらに、海外においても、地政学的リスクや各国の通商政策、中国の過剰生産・輸出問題など、引き続き注視を要する環境が続いている。

このような状況のもと、当社グループは、半導体、データセンター及びエネルギー関連といった重点成長分野への拡販を進めるとともに、コスト削減を推進し、市場環境やコスト動向を踏まえた適正な販売価格の維持・確保に努めていく。併せて、物流効率化や省エネルギー化といった構造改革を加速させ、利ざやの縮小や需要減少の影響を最小限に抑え、安定した利益水準の確保に注力していく方針である。

■ 業績予想について

2026年5月13日の公表値のとおり。

©ARAYA INDUSTRIAL CO.,LTD. All Rights Reserved

Ⅲ.2_1 2027年3月期　通期連結業績予想値

売上高	420 億円 （前年度比　＋3.8%）		
営業利益	24 億円 （前年度比　＋27.3%）	経常利益	25 億円 （前年度比　＋8.4%）
親会社株主に帰属する当期純利益	17 億円 （前年度比　＋11.8%）	1株当たり当期純利益	178円30銭 （前年度比　＋11.8%）

※2026年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。
　1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。
※上記の予想数値は、発表日現在において入手可能な情報および当社が合理的であると判断した一定の前提に基づいた見通しであり、実際の業績等は、今後様々な要因によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

©ARAYA INDUSTRIAL CO.,LTD. All Rights Reserved

Ⅲ.3 中期経営計画2026における連結経営指標計画・目標と実績

（単位：百万円）	2025年３月期 実績	2026年３月期 実績	2027年３月期	2034年３月期
売上高	42,845	40,447	46,700	-
営業利益	1,641	1,885	3,500	営業利益率 10.0％以上
経常利益	1,905	2,306	3,700	-
当期純利益	2,128	1,521	2,600	-
ＲＯＥ	6.4%	4.6%	7.7%	10.0％以上
資本コスト	6.0～8.0％			6.0～8.0％
ＰＢＲ	0.68倍	0.68倍	1.0倍	1.0倍超

©ARAYA INDUSTRIAL CO.,LTD. All Rights Reserved

目　次

Ⅰ．2027年3月期　第2四半期　連結決算概要	2
Ⅱ．2027年3月期　第2四半期　セグメント毎の概要	16
Ⅲ．2027年3月期　通期連結業績予想	22
Ⅳ．株主還元等	26
Ⅴ．ご参考_前期実績	29

※本資料における数字は、百万円未満を切捨てております。
　％表示は、小数点以下第1位未満を四捨五入しております。

©ARAYA INDUSTRIAL CO.,LTD. All Rights Reserved

Ⅳ.1 株主還元の方針

株主還元の方針

■ 配当政策の基本方針

株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとして認識し、中長期的な企業価値の向上に向けた戦略的投資や財務体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定的な配当の継続と業績に応じた適正な利益配分を行うことを基本方針とする。
この基本方針に基づき、2024年３月期以降は、連結配当性向50％程度を目安に経営成績に応じた配当を実施する。

■ 中期経営計画2026（2025年3月期から2027年3月期）期間中における株主還元の方針

・2027年3月期のPBR1.0倍達成に向け、本中期経営計画期間中は、総還元性向100％を基本方針に自己資本の拡大を抑制し、機動的な還元を実施する。

・総還元性向は100％、かつ連結配当性向は50％以上とする。

・不動産のキャッシュインを活用して、下限配当50円（分割前換算100円相当）を実施する。

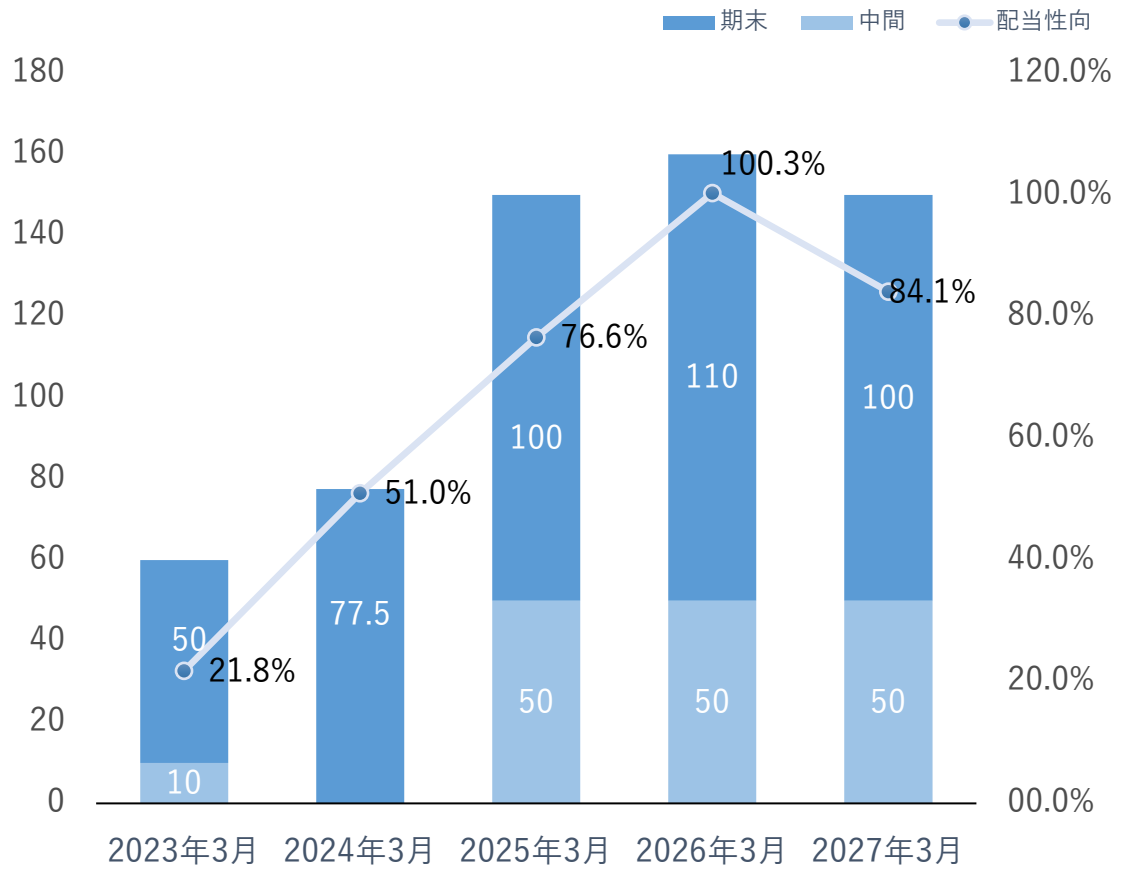
©ARAYA INDUSTRIAL CO.,LTD. All Rights Reserved

IV.2 配当金実績および予想

還元の方針　中期経営計画2026期間の3ヶ年は総還元性向を100%とする。

2026年3月期配当金（前期）	
中　　間	50円00銭
期　　末	110円00銭
年　　間	160円00銭
配当性向	100.3%
総還元性向	101.0%

2027年3月期配当金（当期）	
中　　間	50円00銭
期　　末(予定)	100円00銭
年　　間(予定)	150円00銭
配当性向(予定)	84.1%



※2026年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。
　上記の1株当たり配当額は、2022年4月1日に当該株式分割が行われたものと仮定して算出しております。

©ARAYA INDUSTRIAL CO.,LTD. All Rights Reserved

目　次

Ⅰ．2027年3月期　第2四半期　連結決算概要	2
Ⅱ．2027年3月期　第2四半期　セグメント毎の概要	16
Ⅲ．2027年3月期　通期連結業績予想	22
Ⅳ．株主還元等	26
Ⅴ．ご参考_前期実績	29

※本資料における数字は、百万円未満を切捨てております。
　％表示は、小数点以下第1位未満を四捨五入しております。

©ARAYA INDUSTRIAL CO.,LTD. All Rights Reserved

V.1_1 2026年3月期（前期）連結損益計算書（四半期別比較）

前期実績 （単位：百万円）	第1四半期 (2025.04.01～06.30) 金　額	(売上高比)	第2四半期 (2025.07.01～09.30) 金　額	(売上高比)	第3四半期 (2025.10.01～12.31) 金　額	(売上高比)	第4四半期 (2026.01.01～03.31) 金　額	(売上高比)	通期 (2025.04.01～2026.03.31) 金　額	(売上高比)
売上高	10,296	(-)	9,553	(-)	10,422	(-)	10,174	(-)	40,447	(-)
売上原価	8,130	(79.0%)	7,654	(80.1%)	8,296	(79.6%)	8,048	(79.1%)	32,129	(79.4%)
売上総利益	2,165	(21.0%)	1,899	(19.9%)	2,126	(20.4%)	2,126	(20.9%)	8,317	(20.6%)
販売費及び一般管理費	1,558	(15.1%)	1,628	(17.0%)	1,614	(15.5%)	1,629	(16.0%)	6,431	(15.9%)
営業利益	607	(5.9%)	270	(2.8%)	511	(4.9%)	496	(4.9%)	1,885	(4.7%)
営業外収益	153	(1.5%)	80	(0.8%)	212	(2.0%)	85	(0.8%)	533	(1.3%)
営業外費用	23	(0.2%)	34	(0.4%)	17	(0.2%)	37	(0.4%)	112	(0.3%)
経常利益	737	(7.2%)	317	(3.3%)	706	(6.8%)	544	(5.4%)	2,306	(5.7%)
特別利益	-	(-)	20	(0.2%)	27	(0.3%)	16	(0.2%)	63	(0.2%)
特別損失	114	(1.1%)	1	(0.0%)	0	(0.0%)	7	(0.1%)	123	(0.3%)
税金等調整前四半期純利益	623	(6.1%)	336	(3.5%)	733	(7.0%)	553	(5.4%)	2,246	(5.6%)
法人税等合計	208	(2.0%)	138	(1.5%)	190	(1.8%)	156	(1.5%)	694	(1.7%)
非支配株主に帰属する四半期純利益	27	(0.3%)	▲4	(-)	9	(0.1%)	▲0	(-)	31	(0.1%)
親会社株主に帰属する四半期純利益	387	(3.8%)	202	(2.1%)	533	(5.1%)	398	(3.9%)	1,521	(3.8%)

©ARAYA INDUSTRIAL CO.,LTD. All Rights Reserved

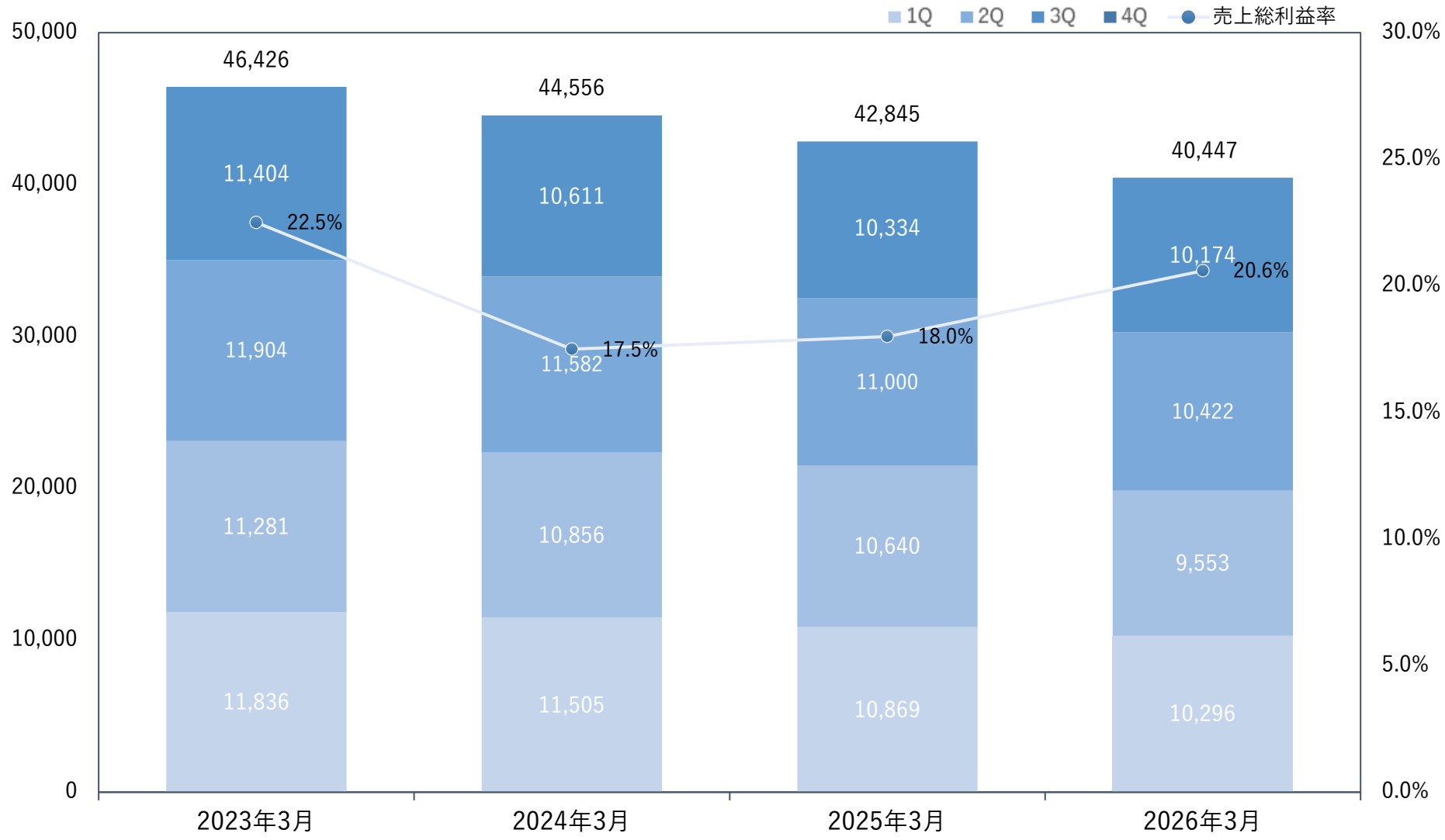
Ⅴ.1_2 直近4期（2023～2026年3月期）連結損益計算書

（単位：百万円）	2023年3月期 金　額	（売上高比）	2024年3月期 金　額	（売上高比）	2025年3月期 金　額	（売上高比）	2026年3月期 金　額	（売上高比）
売上高	46,426	(-)	44,556	(-)	42,845	(-)	40,447	(-)
売上原価	35,997	(77.5%)	36,745	(82.5%)	35,127	(82.0%)	32,129	(79.4%)
売上総利益	10,428	(22.5%)	7,810	(17.5%)	7,717	(18.0%)	8,317	(20.6%)
販売費及び一般管理費	5,800	(12.5%)	5,757	(12.9%)	6,076	(14.2%)	6,431	(15.9%)
営業利益	4,628	(10.0%)	2,053	(4.6%)	1,641	(3.8%)	1,885	(4.7%)
営業外収益	366	(0.8%)	579	(1.3%)	431	(1.0%)	533	(1.3%)
営業外費用	48	(0.1%)	74	(0.2%)	167	(0.4%)	112	(0.3%)
経常利益	4,946	(10.7%)	2,558	(5.7%)	1,905	(4.4%)	2,306	(5.7%)
特別利益	2	(0.0%)	63	(0.1%)	1,036	(2.4%)	63	(0.2%)
特別損失	330	(0.7%)	24	(0.1%)	34	(0.1%)	123	(0.3%)
税金等調整前当期純利益	4,617	(9.9%)	2,597	(5.8%)	2,907	(6.8%)	2,246	(5.6%)
法人税等合計	1,421	(3.1%)	847	(1.9%)	728	(1.7%)	694	(1.7%)
非支配株主に帰属する当期純利益	135	(0.3%)	57	(0.1%)	50	(0.1%)	31	(0.1%)
親会社株主に帰属する当期純利益	3,060	(6.6%)	1,691	(3.8%)	2,128	(5.0%)	1,521	(3.8%)

©ARAYA INDUSTRIAL CO.,LTD. All Rights Reserved

V.2_1 直近4期（2023～2026年3月期）連結売上高（推移表）

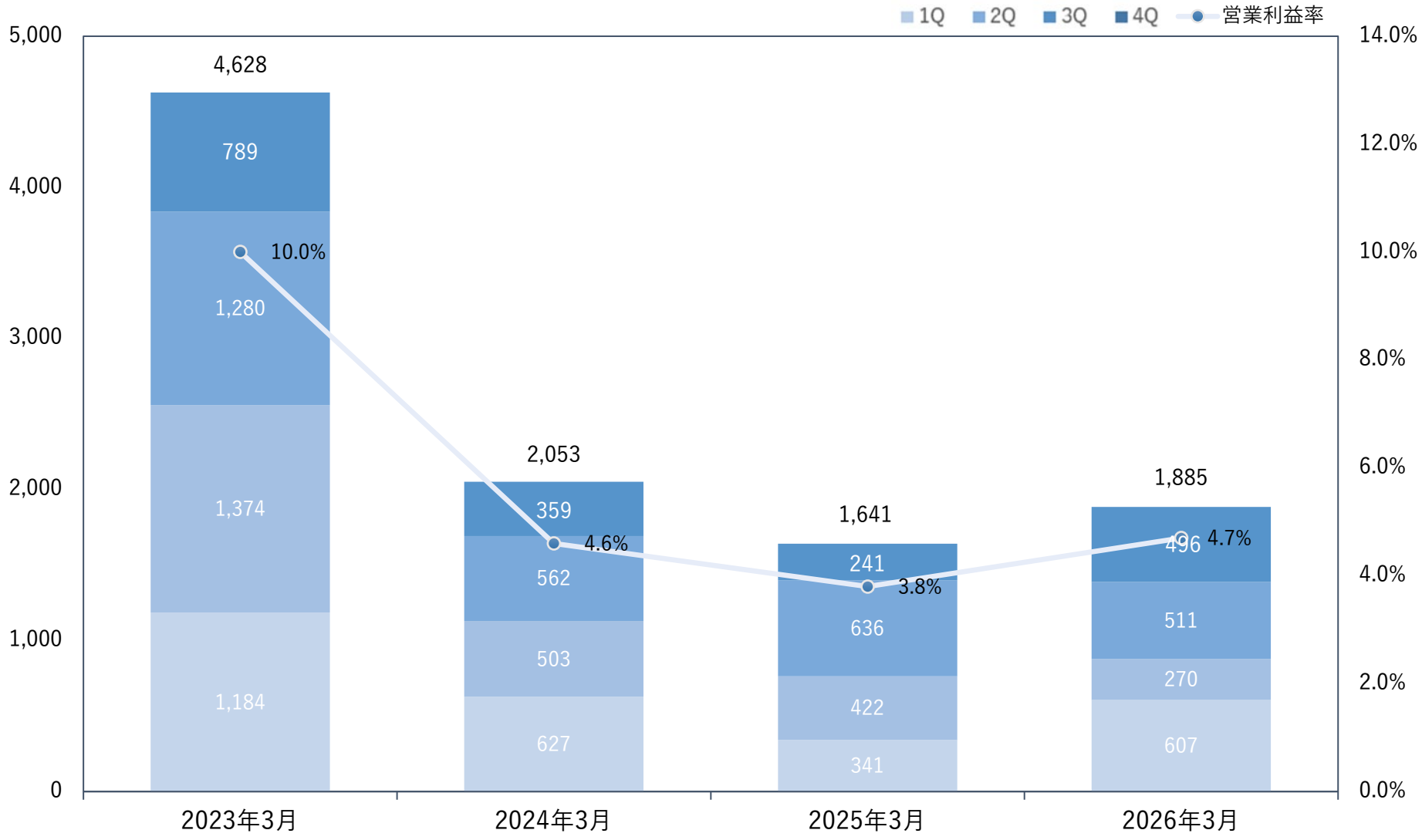
（単位：百万円）



©ARAYA INDUSTRIAL CO.,LTD. All Rights Reserved

V.2_2 直近4期（2023～2026年3月期）連結営業利益（推移表）

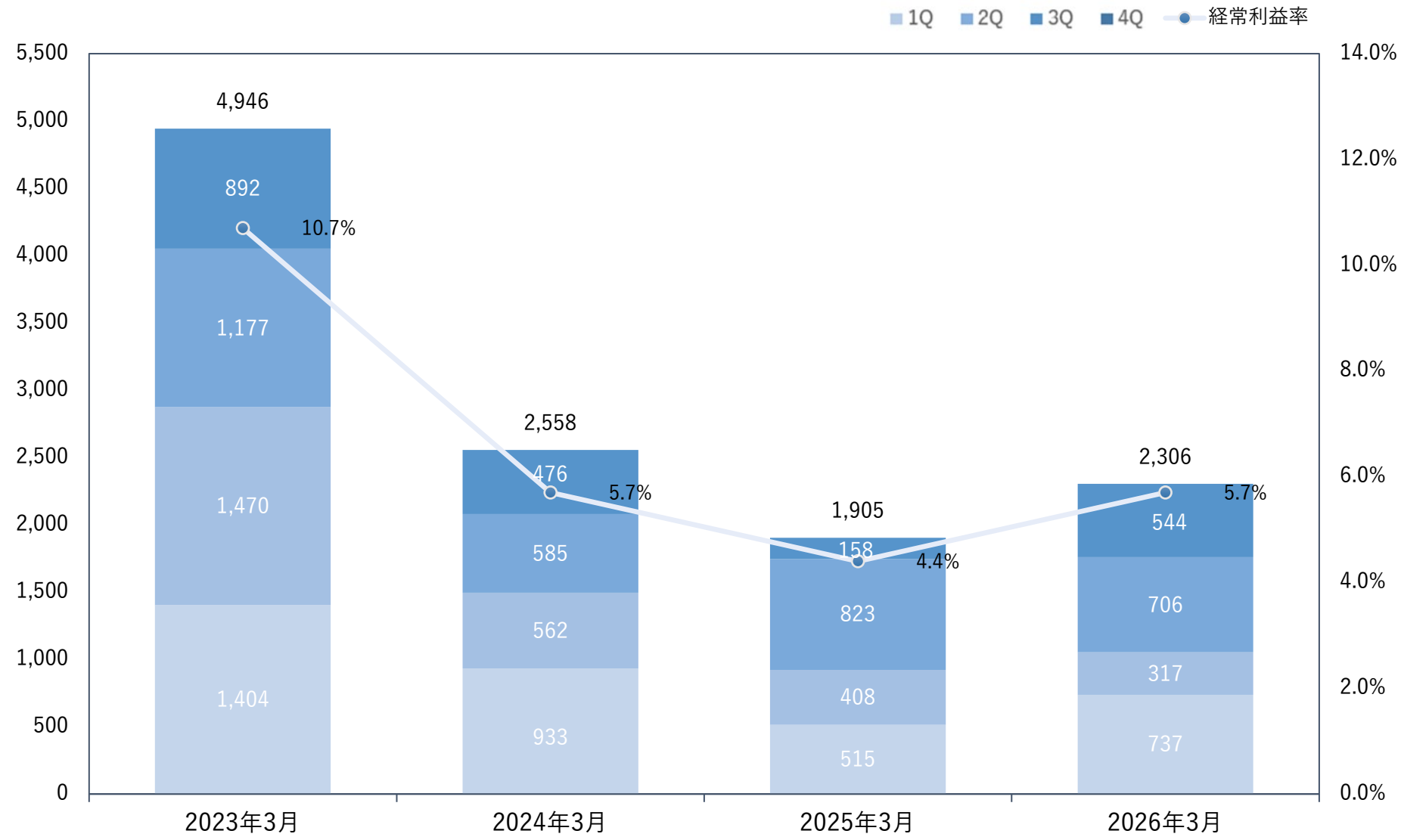
（単位：百万円）



©ARAYA INDUSTRIAL CO.,LTD. All Rights Reserved

V.2_3 直近4期（2023～2026年3月期）連結経常利益（推移表）

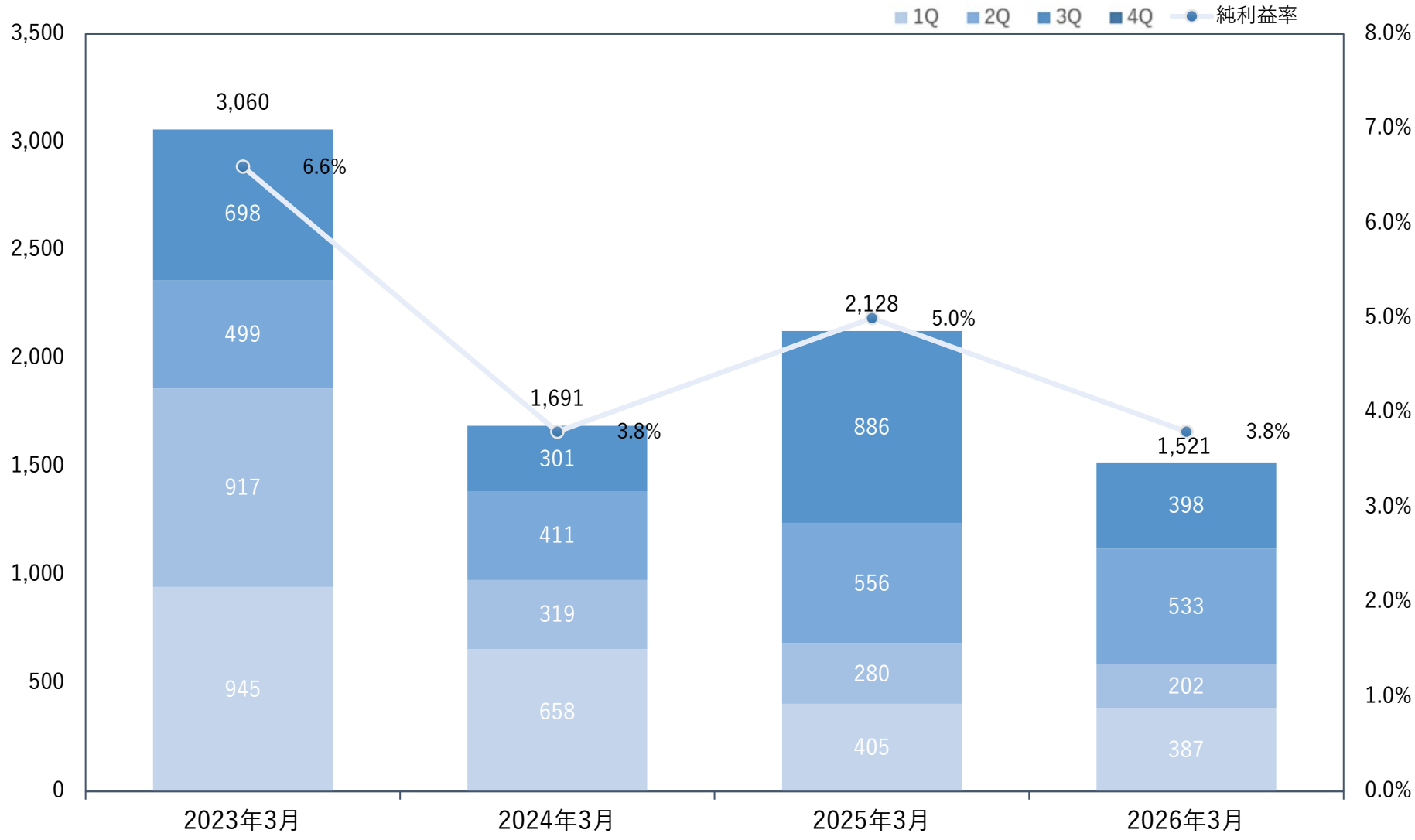
（単位：百万円）



©ARAYA INDUSTRIAL CO.,LTD. All Rights Reserved

V.2_4 直近4期（2023～2026年3月期）連結当期純利益（推移表）

（単位：百万円）



©ARAYA INDUSTRIAL CO.,LTD. All Rights Reserved

Ⅴ.3 直近4期（2023～2026年3月期）連結CF計算書

（単位：百万円）	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,067	2,872	2,733	3,402
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲1,072	▲683	590	▲1,942
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲896	▲1,048	▲6,052	648
現金及び現金同等物に係る換算差額	45	4	13	▲10
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	143	1,145	▲2,714	2,098
現金及び現金同等物の期首残高	8,141	8,271	9,417	6,703
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	▲13	-	-	-
現金及び現金同等物の期末残高	8,271	9,417	6,703	8,801
フリーキャッシュ・フロー （営業活動によるCF＋投資活動によるCF）	995	2,189	3,324	1,460

©ARAYA INDUSTRIAL CO.,LTD. All Rights Reserved

MEMO

©ARAYA INDUSTRIAL CO.,LTD. All Rights Reserved



ディスクレーマー

本資料は投資家の参考に資するため、新家工業株式会社（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として作成したものです。本資料に記述されている業績予想ならびに将来予測は、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。よって、その完全性を保証するものではなく、様々な要因の変化で実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

以上を踏まえた上で、投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願い申し上げます。